

2025 GuFA ユースリーグ U-13 開催要項

- 1 目的
 - ・将来を担うジュニアユース年代のサッカー技術の向上と健全なる心身の育成を図る。
 - ・プレーヤーズファーストの理念に立ち、心身ともにクリエイティブでたくましい選手を育成する。
 - ・関東ユースリーグ(U-13)入れ替えの群馬県代表チームを決める。
- 2 主催 公益社団法人群馬県サッカー協会
- 3 主管 公益社団法人群馬県サッカー協会第3種委員会
- 4 大会の名称
 - 2025 GuFA ユースリーグ U-13 Kリーグ ※ 以下 Kリーグ
関東リーグ入りを目指すチームで構成。関東を意識するのでKリーグと命名。
 - 2025 GuFA ユースリーグ U-13 Mリーグ ※ 以下 Mリーグ
関東リーグ入りは考えず、県内での対戦を楽しみたいチームで構成。
- 5 会場 ※各リーグ運営委員会にて決定する。
- 6 期 日 Kリーグ・Mリーグともに 2025年6月～12月
 - ・具体的な日程は、リーグ運営委員会(代表者会議)で正式決定する。
 - ・Mリーグは、基本的に四地区内(北毛、中毛、西毛、東毛)で開催する。
参加チーム数が少ない場合は全県下で行う。
 - ・トレセンマッチデーにはリーグ戦を入れない。
 - ・関東大会を群馬県開催する時はリーグ戦より大会運営業務を優先する。
- 7 リーグの編成
 - 長期に渡るリーグであること。
 - 力が拮抗したチーム同士の対戦になるよう工夫すること。
 - 登録メンバーが全員出場できるよう工夫すること。
- 8 代表者会議
 - Kリーグ 会場: 邑楽町中央公民館 2F会議室 5/21(水)19:00～
 - Mリーグ 申し込み後、担当者より連絡
 - 代表者会議に参加できない場合は、大会に参加できない。
- 9 参加資格
 - ①群馬県サッカー協会に第3種登録した加盟チームに所属していること。
平成24年、2012年1月1日以降に生まれた選手であること。
※Kリーグはこれに該当せず、中学2年生の出場は認めない。
 - ②日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては同一クラブ内の別のチームの所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。
なお、本項の適応対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種およびそれ以上の年代の選手は適応対象外とする。
 - ③KリーグMリーグの両方に参加しているチームの場合、選手入れ替えを認める。
 - ④Mリーグはチーム事情でU-13年代が11人に満たない場合はU-14の参加も認める。
 - ⑤合同チームの参加を認める。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。また、合同チームについては昇格資格を得ても昇格はしないが、群馬県サッカー協会長杯U-13大会の出場資格は得ることができる。
- 10 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、e-mailで送る。(5/13(火)締め切り)

Kリーグ 担当者(小林淳史) e-mail fc.ora-3525@orchid.plala.or.jp
携帯 090 2166 7520
Mリーグ 担当者(本木 靖) e-mail litti1982@yahoo.co.jp
携帯 090 3525 8710

11 参加費 Kリーグ 20,000円 Mリーグ 10,000円

・Kリーグは参加費を県協会口座に 5/13(火)までに振り込む
群馬銀行 県庁支店 普通口座 普通 0579434
公益社団法人 群馬県サッカー協会 会長 針谷 章
申込の際の注意 依頼人の欄はチーム名の前に協会事業コード312を付ける。
(例) 312 カタオカチュウ

協会事業コード番号 チーム名

・Mリーグは参加費を代表者会議にて提出する

- 12 競技方法 (1)11対11で行う。
(2)参加チームをブロックに分け予選リーグを行う。その後、順位決定リーグを行う。
ブロック数は、参加チームにより決定する。
但し、Mリーグはこの限りではない。
(3)順位決定の優先順位は以下の通り
- ① 勝ち点合計、勝ち3点、引き分け1点、負け0点
 - ② 得失点差
 - ③ 総得点
 - ④ 当該チーム同士の対戦
 - ⑤ 上記項目がすべて同じ場合は同順位で表彰
但し、順位決定が必要な場合は決定戦を行う

- 13 競技規則 大会実施年度の日本サッカー協会競技規則による。
但し、以下の項目については本大会規則を定める。
- (1)プレーの時間 Kリーグ・Mリーグとも60分
 - (2)試合ごとの登録選手 30名まで
 - (3)交代要員は19名。再交代を認める。ただし、Kリーグは登録選手全員が出場したのち、再交代が可能となる。順位決定リーグの最上位リーグは再交代は認めない。
 - (4)テクニカルエリア 設置する(会場により設置できない場合あり)
 - (5)ベンチに入れるのは、交代要員選手及び試合当日メンバー表に記載されたスタッフ。
 - (6)第4の審判員 おくことが望ましい
 - (7)アディショナルタイム表示 実施しない
 - (8)本大会期間中に異なる試合で警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
 - (9)本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、第3種委員会規律委員会で決定する。
 - (10)社会情勢や悪天候等で期日までにリーグが消化できなかった場合には、実施できた試合までの勝ち点で順位を決める。
また、大幅な日程変更等が必要となる場合には、(公社)群馬県サッカー協会第3種委員会で検討する。

14 選手証及びメンバー表

- (1)選手証を印刷したもの、または登録選手一覧を印刷したものを選手登録用紙(メンバー表)と一緒に試合前に本部に提出する。写真のない選手は出場できない。
また、チームで忘れた場合は不戦敗(0-7)とする。
- (2)メンバー表を試合前に相手チームと交換する。

15 その他

- (1)本リーグは自主運営を基本とする。したがって、運営委員が会場にはりつくことはしない。
各対戦カードにおいてホームチームを決定し、会場運営を担当する。
- (2)入れ替え戦等について
Kリーグ昇格資格を有するチームの最上位チームの次世代は、
次年度関東ユースリーグU-13(2部)に自動昇格(予定)
Kリーグは群馬県協会長杯U-13大会の予選を兼ねる。
Mリーグは入れ替え戦等はなし。
- (3)各チームは会場に於けるマナー注意事項を守る。
- (4)審判の運営は各チーム有資格審判員を帯同し協力する。(U-15有資格者も副審として認める。)
- (5)試合結果の集約は、代表者会議においてブロック責任者を決め、各会場ごとにホームチームの責任者がブロック責任者へ報告し、ブロック責任者が随時(試合の都度)リーグ事務局に報告する。
- (6)表彰はKリーグは優勝・準優勝・第3位までのチーム、Mリーグは優勝チームに賞状
- (7)雷が発生した場合は試合を中断し、建物内や車内に避難させ様子を観る。
遠ざかったのを確認できれば再開し、残り時間を行う。
その日に再開不可能な場合は以下の通りとする。
 - ①中断が後半開始前の場合は、点差にかかわらず再試合。
 - ②中断が後半の半分を経過していない場合は、点差にかかわらず後日残り試合を行う。
 - ③中断が後半の半分を経過していた場合は、試合を成立させる(コールドゲーム)※②の場合、中断した試合に登録されていたメンバーであれば、後日行われる再試合に誰を起用してもよい。(退場者を除く)
- (8)気温35℃以上、WBGT31℃以上の場合は試合を中止または延期とする。中止・延期の判断は試合前に行うものとし、前後半のプレー中に試合を延期・中止しない。試合前に会場責任者が判断する。やむを得ず行う場合は「JFA熱中症対策<A+B>」を講じた上で【Cooling Break】を行う。
 - ①ベンチを含む十分なスペースにテントを設置し、日射を避ける。
 - ②ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。
 - ③各会場に「WBGT計測器」を整える。
 - ④飲水タイムを通常より長くとる。2~4分の「Cooling Break」を設定する。選手・審判員は以下の行動をとる。
 - ・日陰にあるベンチに入り休息する。
 - ・氷、アイスバッグ等で体を冷やし、必要に応じて着替えをする。
 - ・スポーツドリンクを補給する。
 - ⑤「Cooling Break」に費やした時間は、その理由によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。